



# 2021年3月期第2四半期 決算説明会補足資料

2020年11月20日

日本紙パルプ商事株式会社

## 連結の範囲

	国内	海外	計	前期末比増減
当社	1	-	1	-
連結子会社	22	53	75	▲1
持分法適用会社	6	1	7	-
計	29	54	83	▲1

異動の内訳

連結子会社：三国紙工を除外

## 連結業績 P/L

《要約連結損益計算書》

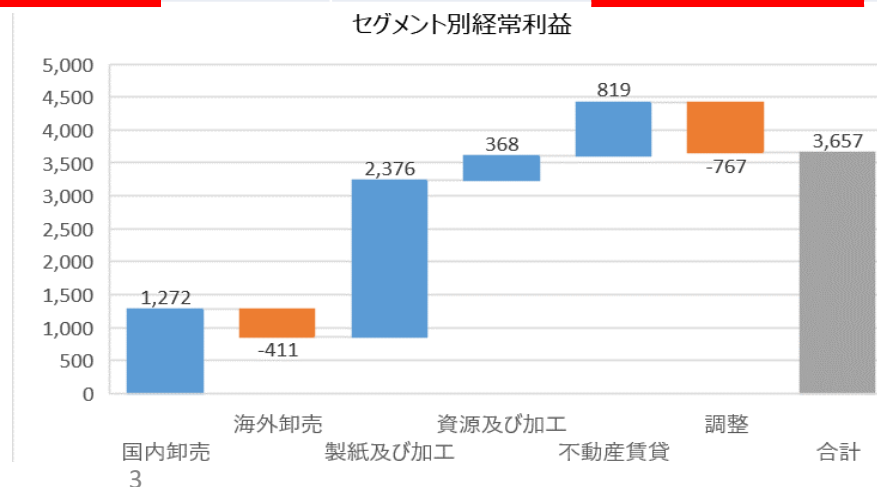
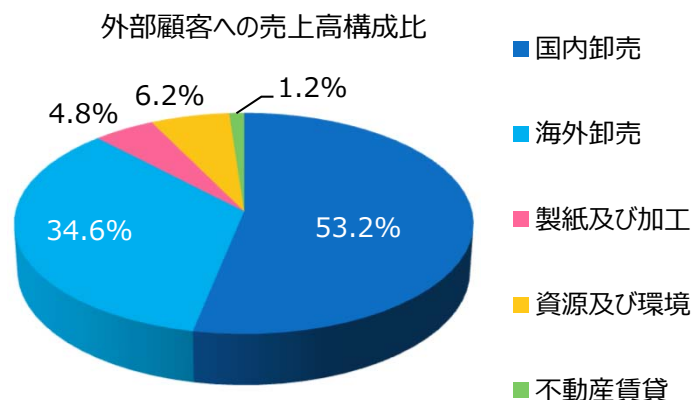
単位：百万円

科目	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減	前年 同期比
売上高	264,384	224,787	△39,597	85.0
売上原価	231,272	194,684	△36,588	84.2
売上総利益	33,111	30,102	△3,009	90.9
販売費及び一般管理費	27,568	26,460	△1,108	96.0
営業利益	5,544	3,643	△1,901	65.7
営業外収益	1,012	1,089	77	107.6
営業外費用	1,407	1,074	△333	76.4
経常利益	5,149	3,657	△1,491	71.0
特別利益	821	147	△674	17.9
特別損失	84	458	374	546.3
税金等調整前四半期純利益	5,886	3,346	△2,539	56.9
法人税等	1,891	1,287	△604	68.1
四半期純利益	3,995	2,059	△1,936	51.5
非支配株主に帰属する四半期純利益	646	429	△217	66.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,348	1,630	△1,718	48.7

# 連結業績 P/L セグメント別構成

単位：百万円

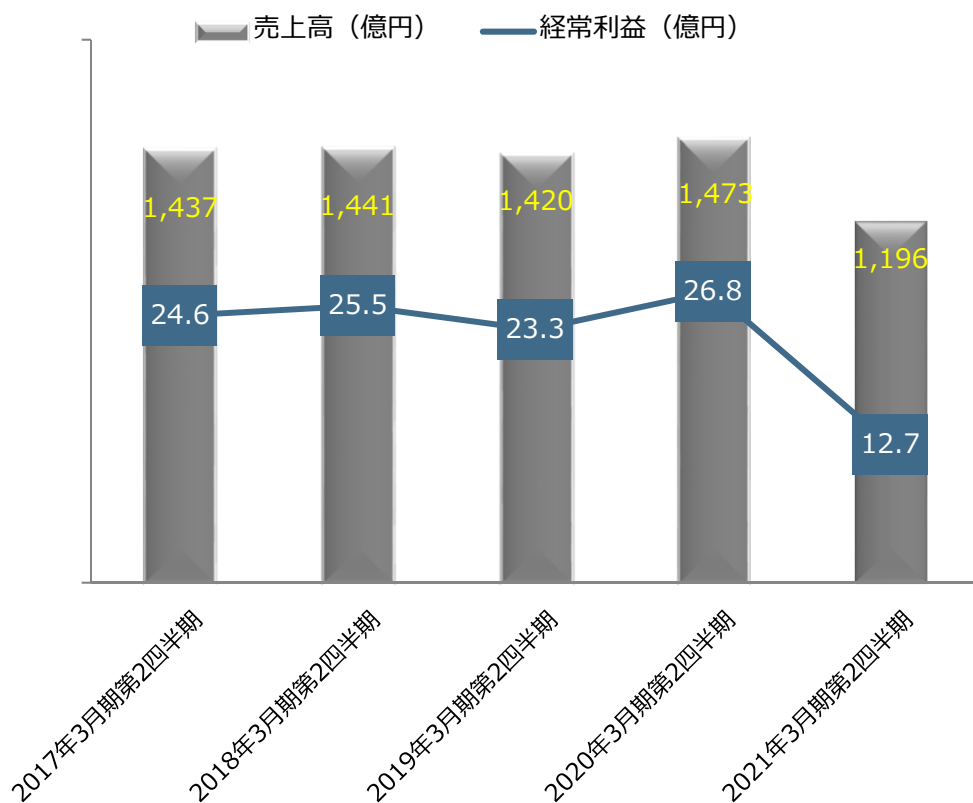
セグメントの名称	外部顧客への売上高			経常利益		
	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前年 同期比	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前年 同期比
国内卸売	147,320	119,602	81.2	2,679	1,272	47.5
海外卸売	86,640	77,852	89.9	△277	△411	—
製紙及び加工	12,630	10,847	85.9	3,356	2,376	70.8
資源及び環境	15,180	13,876	91.4	△28	368	—
不動産賃貸	2,614	2,610	99.8	807	819	101.5
調整額				△1,387	△767	55.3
連結損益計算書計上額	264,384	224,787	85.0	5,149	3,657	71.0



## 【国内卸売】セグメント

単位：百万円

外部顧客への売上高	前年同期比増減 (前年同期比)	経常利益	前年同期比増減 (前年同期比)
119,602	△27,718 (81.2%)	1,272	△1,406 (47.5%)



### ◎売上高

新型コロナウイルスの感染拡大により紙・板紙の販売数量が落ち込んでいる。

紙は、コミックや学参書等の需要が増加した一方で、各種イベントの開催規模の縮小や中止、在宅勤務の増加等、活動の制限が続き、チラシやイベントのパンフレットやポスター等の需要は回復してない。板紙は、通販関連や加工食品向けの需要は増加したものの、不振が続く輸出梱包関連や天候不良により青果物向けでも需要は減少した。

これらの結果、販売数量の減となり▲18.8%減となった。

### ◎経常利益

売上高の減少より▲52.5%減となった。

### ◎ 2020年度のトピックス

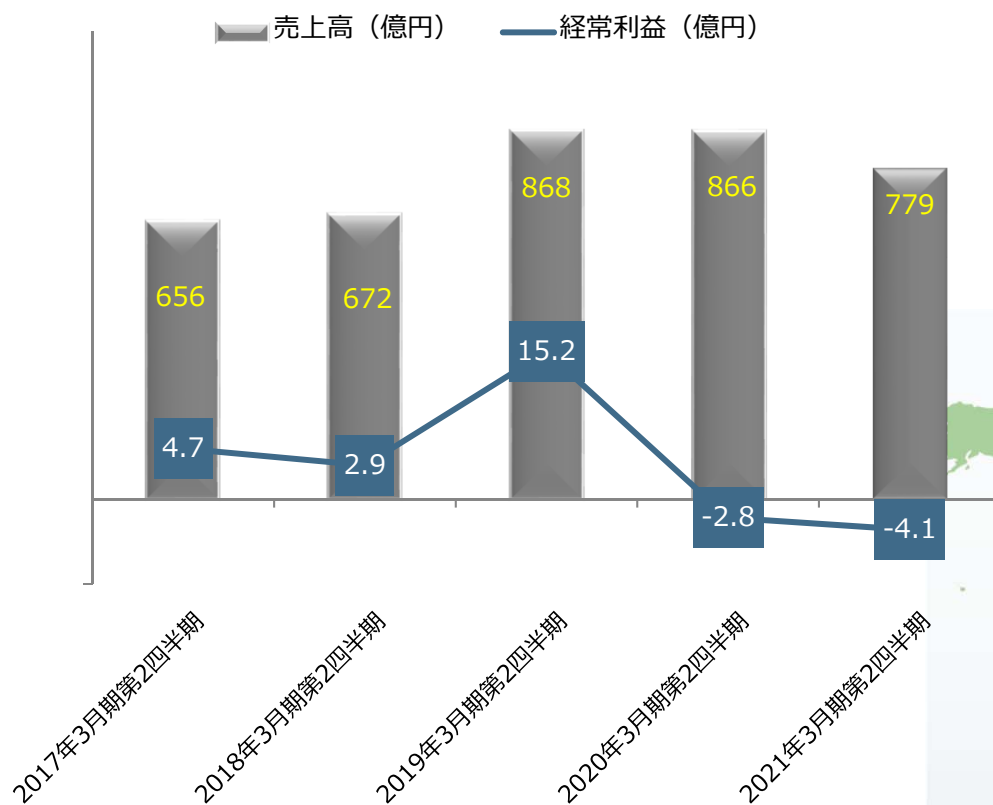
鹿児島・沖縄地区の紙販売において高いシェアを有し、紙加工品・文房具など、紙に関連した事業を展開する株式会社ふちかみをグループ会社化。



# 【海外卸売】セグメント

単位：百万円

外部顧客への売上高	前年同期比増減 (前年同期比)	経常利益	前年同期比増減 (前年同期比)
77,852	△8,788 (89.9%)	△411	△133 (-)



## ◎売上高

前第2四半期連結会計期間末に連結の範囲に加わったRADMS Paper Limited傘下のPremier Paper Group Limitedの業績が期首より反映されているものの、新型コロナウイルスの感染拡大による社会経済活動の制限の影響で紙・板紙の需要が大幅に減少し、▲10.1%となった。

## ◎経常利益

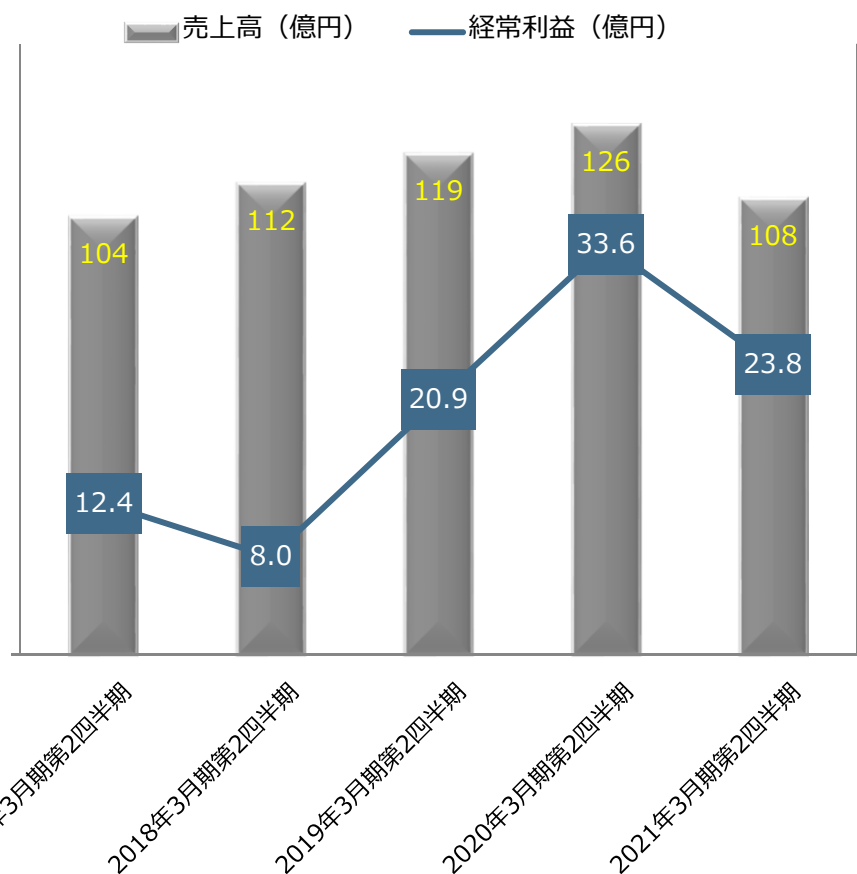
売上高の減少とRADMS Paper Limitedののれん償却費の増加などにより411百万円の経常損失（前年同四半期連結累計期間は277百万円の経常損失）となった。



## 【製紙及び加工】セグメント

単位：百万円

外部顧客への売上高	前年同期比増減 (前年同期比)	経常利益	前年同期比増減 (前年同期比)
10,847	△1,783 (85.9%)	2,376	△980 (70.8%)



### ◎売上高

再生家庭紙事業において、前年は10月に実施された消費増税前の駆け込み需要があり、当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの感染拡大による前事業年度末の需要増の反動減があったため、▲14.1%となった。

### ◎経常利益

再生家庭紙及び段ボール原紙の販売が減少したことにより▲29.2%となった。

### ◎トピックス

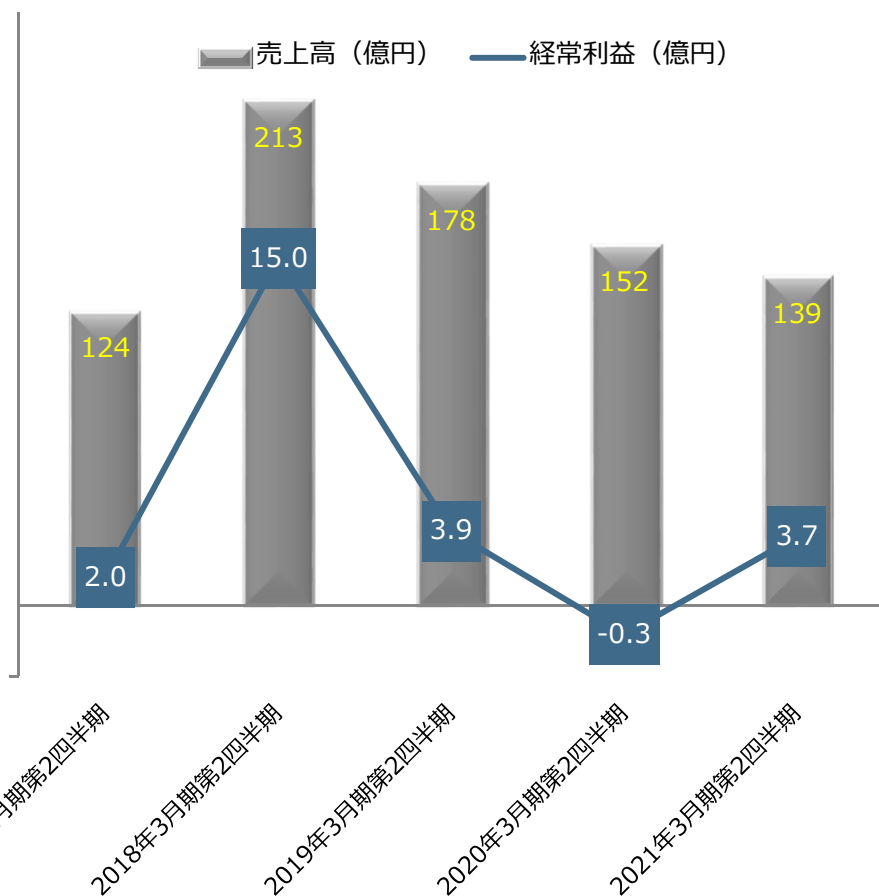
コアレックス信栄で抗菌、消臭効果のある「コアレックスハンドタオル」を開発、販売開始



## 【資源及び環境】セグメント

単位：百万円

外部顧客への売上高	前年同期比増減 (前年同期比)	経常利益	前年同期比増減 (前年同期比)
13,876	△1,304 (91.4%)	368	+396 (-)



### ◎売上高

総合リサイクル事業、再生可能エネルギーによる発電関連事業が増加したものの、国内古紙事業において、国内製紙メーカーの生産数量減少に伴い原料古紙の販売数量が減少したことにより、▲8.6%となった。

### ◎経常利益

総合リサイクル事業等の堅調な事業の収益に加え、販売費及び一般管理費の減少等により368百万円の経常利益（前年同四半期連結累計期間は28百万円の経常損失）となった。





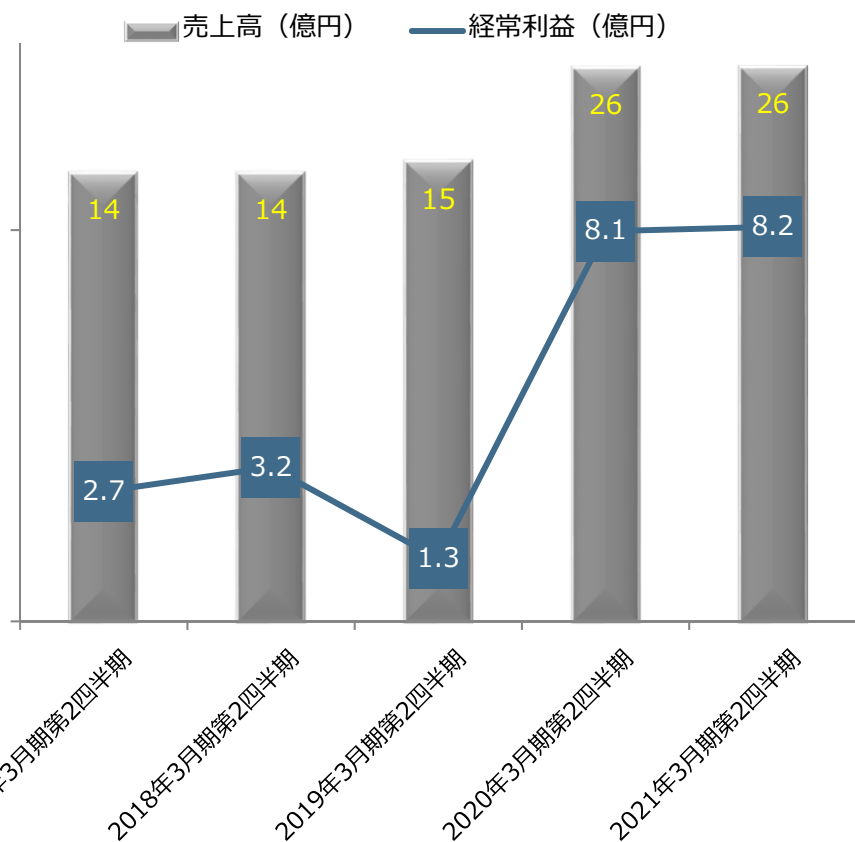
# 【不動産賃貸】セグメント

単位：百万円

外部顧客への売上高	前年同期比増減 (前年同期比)	経常利益	前年同期比増減 (前年同期比)
2,610	△4 (99.8%)	819	+12 (101.5%)

## ◎売上高、経常利益

テナントビルの高稼働が継続しており、売上高は前年同期比ほぼ横ばいの2,610百万円、経常利益は1.5%増の819百万円となった。



## 連結財政状態

### 《要約連結貸借対照表》

単位：百万円

科目	2020年3月期	2021年3月期 第2四半期	前期末比増減
流動資産	178,460	154,844	△23,616
固定資産	163,358	159,614	△3,744
繰延資産	120	110	△10
資産合計	341,939	314,568	△27,370
流動負債	170,747	151,127	△19,621
固定負債	83,945	81,662	△2,283
負債合計	254,693	232,788	△21,904
株主資本	76,138	73,210	△2,928
その他の包括利益累計額	4,164	2,613	△1,551
新株予約権	152	117	△36
非支配株主持分	6,792	5,840	△952
純資産合計	87,246	81,780	△5,466
負債純資産合計	341,939	314,568	△27,370
純有利子負債	120,663	112,685	△7,978
NET D/Eレシオ	1.50	1.49	△0.02

## 連結業績 経営指標

---

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前年同期比 増減
1株当たり四半期純利益	238円54銭	119円23銭	▲119円31銭
潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	237円48銭	118円85銭	▲118円63銭
売上高経常利益率	1.9%	1.6%	▲0.3ポイント

---

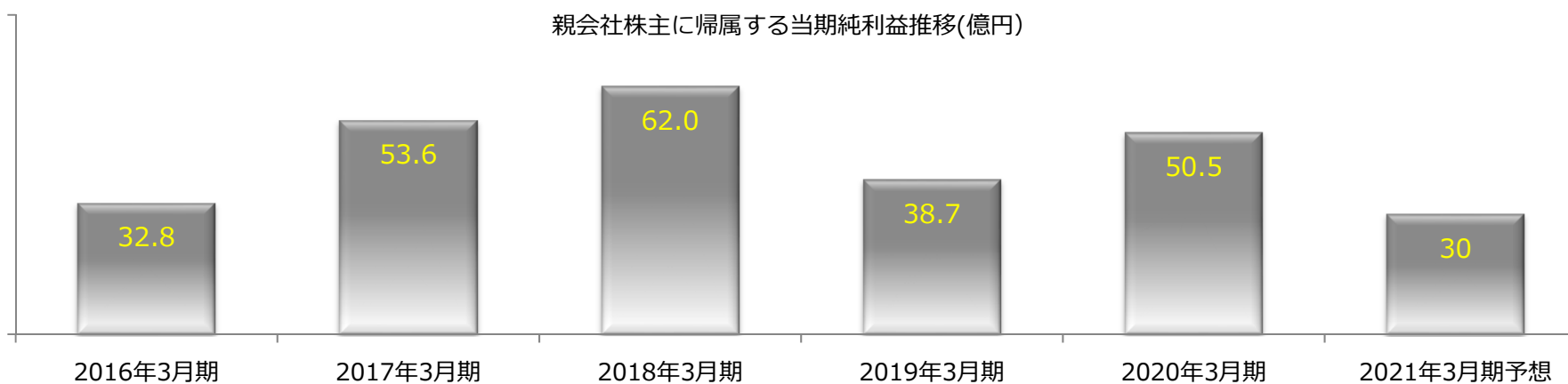
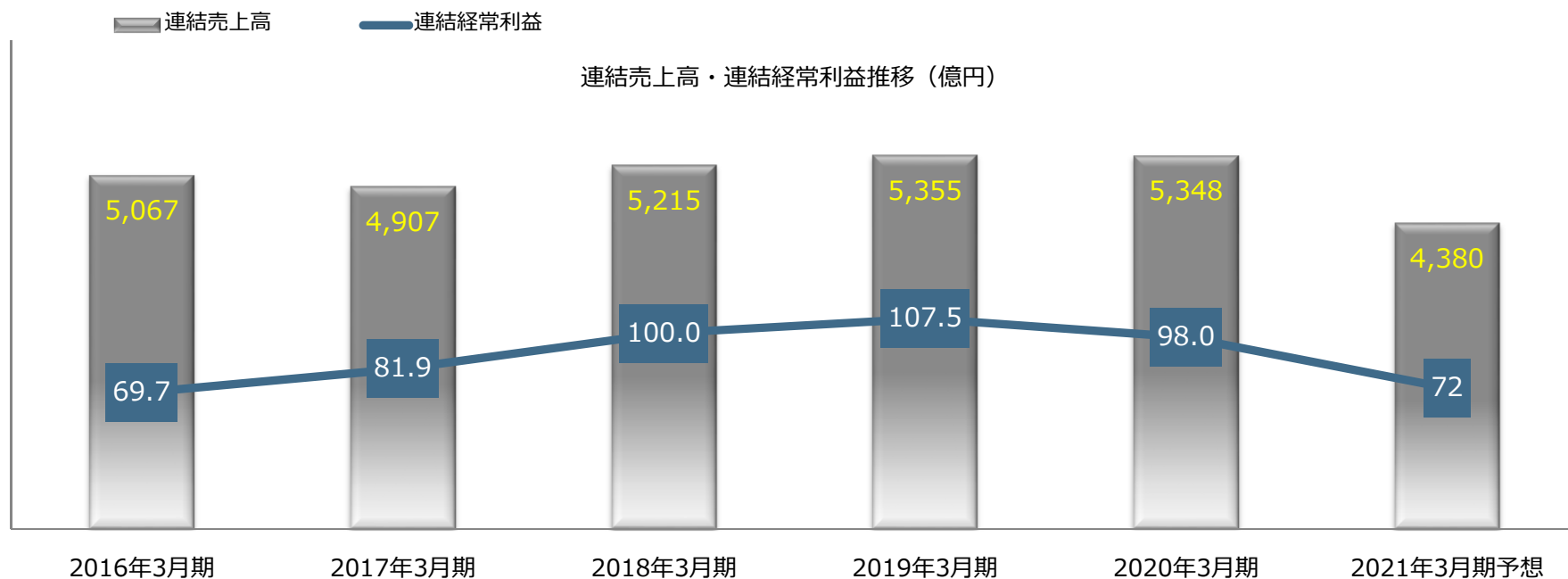
# 2021年3月期業績見通しについて

## 連結業績予想

---

	2021年3月期予想	前期比
売上高	438,000百万円	81.9%
営業利益	7,200百万円	65.9%
経常利益	7,200百万円	73.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,000百万円	59.4%

# 連結業績の推移



## 2021年3月期業績見通しについて（セグメント別経常利益）

	2020年3月期	2021年3月期業績見込 前年度比
国内卸売	5,078百万円	減益見込
海外卸売	△763百万円	赤字拡大
製紙及び加工	6,959百万円	減益見込
資源及び環境	294百万円	増益見込
不動産賃貸	1,642百万円	減益見込

## 2021年3月期業績見通しについて 【国内卸売】セグメント

---

- 各品種・用途において、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を強く受け、販売数量が前年を下回る見込。
- 印刷用紙は、出版用途では、雑誌などの部数、ページ数減の影響が引き続きでているものの、学参、書籍、コミックなどの需要は堅調と見込んでいる。  
一方、商業印刷はGo Toトラベルなど様々な政策が打ち出されているものの、印刷需要増への効果は限定的で、イベントの中止、チラシの発行減などが続くことを見込んでいる。  
また、コピー用紙はテレワークなどの影響で減少傾向。
- パッケージ用途では、段ボール原紙の出荷は、加工食品分野を中心に依然として堅調である。輸出梱包向けは、急激に落ち込んだ世界経済を反映し低迷していたが、徐々に回復することを見込んでいる。  
白板紙は、加工食品・健康食品は堅調な出荷を見込んでいるが、化粧品などの贈答・土産物のパッケージ用途がインバウンド需要の消失で低迷している。
- 利益面ではコストダウンを徹底すると同時に、紙・板紙とも販売価格の維持が最重要と認識。



## 2021年3月期業績見通しについて 【海外卸売】セグメント

---

- Gould Paper (北米)  
販売数量は大きく前年を下回る見込みだが、マーチャント事業等への選択と集中を実行し、徐々に回復傾向にある。利益面では、リストラなどの効果で費用の減少を見込む。
- Ball & Doggett (オセアニア)  
販売数量はパッケージ関連は堅調だが、印刷用紙部門は引き続き苦戦し、前年を下回る見込。利益面では、リストラなどの効果で費用の減少を見込む。
- OVOL Singapore OVOL Malaysia (アジア)  
パッケージ向け販売が底堅いものの、観光客・イベント開催の減により印刷用紙や、テレワークの影響でコピー用紙が販売減となり、前年を下回る見込。
- Premier Paper (英国)  
今期より通年に亘り業績貢献。新型コロナウイルス対策商材の特需はあるものの、印刷用紙やサイン&ディスプレイ用途の販売は前年を下回る見込。
- JP中国 (中国)  
新型コロナウイルスの影響は残るものの、機能紙、段原紙販売の回復を見込む。

- 段ボール原紙製造事業

加工食品分野を中心に依然として需要は堅調である。輸出梱包向けは、急激に落ち込んだ世界経済を反映し低迷していたが、徐々に回復することを見込んでいる。原料古紙価格は安定で見込んでいる。

- 家庭紙製造事業

新型コロナウイルスの拡大による外出制限などの影響は徐々に減少し、商業施設などの需要は回復しているが、通期では前年度末（2020年3月）に発生した買いだめ需要の反動などがあり、販売減の見通し。

- **古紙再資源化事業**  
新型コロナウイルス感染拡大の影響で紙・板紙の需要は大きく落ち込んだ。国内製紙メーカーは生産調整を実施していたが、徐々に生産数量は回復し、原料古紙の使用も回復の見通し。
- **再生可能エネルギーによる発電事業**  
野田バイオパワーJP含めほぼ当初計画に沿った水準を期待
- **総合リサイクル事業**  
当初計画に沿った水準で見込んでいる。

- オフィス賃貸については、引き続き高稼働であるものの、一部物件で、賃貸料収入の減があり、売上高、経常利益とも対前年同期比減少を見込んでいる。
- 日本橋、京都のテナントであるホテルは、新型コロナウイルスによる、大幅な宿泊数の減少があるものの、当社の業績に大きな影響はない。

---

# 次期中期経営計画について

- 中期経営計画2019数値目標は連結経常利益130億円としていたが、2020年3月期実績は98億円と未達。
- 次期中期経営計画はWithコロナ、Afterコロナのニューノーマルを見据え、現在策定作業中。  
現時点では2021年4月からスタート予定





# Paper, and beyond

本資料で記載されている業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。  
経済環境や、市場動向、為替変動等に係るリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の業績予想と異なる可能性があります。